



2020年11月6日

各 位

上場会社名 矢作建設工業株式会社
代表者名 取締役社長 高柳 充広
(コード番号:1870 東証1部・名証1部)
本社所在地 名古屋市東区葵三丁目19番7号
問合せ先責任者 経理部長 佐口 芳樹
TEL 052-935-2348

IR資料 当社グループの経営現況について

2021年3月期第2四半期連結決算

当社グループの2021年3月期第2四半期連結決算の概要と経営現況を以下の通りまとめましたので、ご参照下さい。

○目次

I. 連結損益の状況について	1
II. 事業別の概況	3
1. 建築工事	3
2. 土木工事	3
3. 不動産事業	4
III. 連結財政状態及び配当の状況	5
IV. 通期予想について	6
V. 参考情報	7
1. 受注高、売上高及び次期繰越高（連結）	7

I. 連結損益の状況について

□ 連結経営成績

(単位:百万円)

	2016.9 実績	2017.9 実績	2018.9 実績	2019.9 実績	2020.9 実績	前期比	
						増減額	増減率
売上高	41,085	40,444	39,452	37,823	46,247	8,424	22.3%
完成工事高	27,745	35,049	36,434	33,419	38,418	4,998	
不動産事業等売上高	13,340	5,394	3,017	4,403	7,829	3,425	
売上総利益	8,349	6,081	6,389	6,143	6,943	800	13.0%
(売上総利益率)	(20.3%)	(15.0%)	(16.2%)	(16.2%)	(15.0%)		▲1.2pt
完成工事総利益	3,572	4,432	5,037	4,785	4,827	42	
不動産事業等総利益	4,777	1,649	1,351	1,357	2,115	758	
販売費及び一般管理費	4,211	3,930	3,799	3,855	3,967	112	2.9%
営業利益	4,138	2,150	2,590	2,287	2,975	688	30.1%
(営業利益率)	(10.1%)	(5.3%)	(6.6%)	(6.0%)	(6.4%)		0.4pt
経常利益	4,176	2,192	2,645	2,357	3,058	700	29.7%
(経常利益率)	(10.2%)	(5.4%)	(6.7%)	(6.2%)	(6.6%)		0.4pt
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,110	1,485	1,780	1,522	2,104	581	38.2%
(四半期純利益率)	(7.6%)	(3.7%)	(4.5%)	(4.0%)	(4.5%)		0.5pt

□ 受注高総括

(単位:百万円)

	2016.9 実績	2017.9 実績	2018.9 実績	2019.9 実績	2020.9 実績	前期比	
						増減額	増減率
建築工事	28,721	31,359	17,650	39,447	38,580	▲867	▲2.2%
土木工事	10,537	16,290	15,051	12,922	9,648	▲3,274	▲25.3%
合計	39,259	47,649	32,702	52,370	48,228	▲4,141	▲7.9%

□ 次期繰越高総括

(単位:百万円)

	2016.9 実績	2017.9 実績	2018.9 実績	2019.9 実績	2020.9 実績	前期比	
						増減額	増減率
建築工事	44,201	41,450	34,453	63,012	70,751	7,739	12.3%
土木工事	18,643	32,096	32,934	34,378	28,556	▲5,821	▲16.9%
合計	62,844	73,546	67,387	97,390	99,307	1,917	2.0%

【前期実績との比較】

（売上高）

2021年3月期第2四半期(当期)は、建設事業において鉄骨造の大型建築工事の施工が進捗したことから、前年同四半期(前期)に比べ増収となり、不動産事業においても当第2四半期迄に分譲マンション新規物件2棟の完成引渡しを迎えたことから増収となり、売上高全体としては前期実績を大きく上回りました。

（利益）

利益につきましては、建設事業、不動産事業ともに増収効果により増益となったことで、分譲マンションの販売増加に伴う販売費及び一般管理費の増加があったものの、前期に比べ各利益段階で増益となりました。

（受注高及び次期繰越高）

当期の受注高は、物流施設、ホテル、商業施設など複数の大型工事の受注が集中した前期には及ばなかったものの、大規模物流施設工事の獲得などにより前期に引き続き高水準となりました。また、次期繰越高についても、前期からの堅調な受注により、依然として高い水準を維持しています。

【業績予想との比較】

（売上高）

2020年5月11日に公表した業績予想に対しては、建設事業において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って一部工事で着工が遅れ、また一時中断措置をとった工事もあったことから、売上高は予想を下回りました。

（利益）

利益につきましては、建設事業の利益率が期初の見込みよりも改善したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経費が減少し、販売費及び一般管理費が縮減できたことで、各利益段階で業績予想を上回りました。

(参考) 2020年9月期(第2四半期累計)の連結業績予想・実績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位:百万円)

2020年9月期 (第2四半期累計)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
業績予想(※)	48,000	2,800	2,800	1,850
実績	46,247	2,975	3,058	2,104
差異	▲ 1,752	175	258	254

(※)2020年5月11日公表値。

II. 事業別の概況

1. 建築工事

□ 受注高・売上高・売上総利益等の状況

(単位:百万円)

	2016.9 実績	2017.9 実績	2018.9 実績	2019.9 実績	2020.9 実績	前期比	
						増減額	増減率
連結受注高	28,721	31,359	17,650	39,447	38,580	▲ 867	▲2.2%
連結売上高	19,540	24,849	23,071	19,566	26,417	6,851	35.0%
連結売上総利益	2,418	3,043	2,804	2,938	3,007	68	2.3%
連結売上総利益率	12.4%	12.2%	12.2%	15.0%	11.4%		▲3.6pt

(受注高)

建築工事の受注高は、複数の大型工事の受注が集中した前期には及ばなかったものの、大規模物流施設工事の獲得などにより引き続き高水準となりました。

(売上高)

売上高は、工場や物流施設など鉄骨造の大型建築工事を中心に期首手持工事の施工が順調に進捗したことから、前期実績を大きく上回りました。

(売上総利益)

売上総利益は、増収効果はあったものの、鉄骨造工事の増加により全体の利益率が前期に比べ低下したことから、前期と同水準となりました。

2. 土木工事

□ 受注高・売上高・売上総利益等の状況

(単位:百万円)

	2016.9 実績	2017.9 実績	2018.9 実績	2019.9 実績	2020.9 実績	前期比	
						増減額	増減率
連結受注高	10,537	16,290	15,051	12,922	9,648	▲ 3,274	▲25.3%
連結売上高	8,205	10,200	13,362	13,853	12,000	▲ 1,852	▲13.4%
連結売上総利益	1,154	1,388	2,233	1,847	1,820	▲ 26	▲1.4%
連結売上総利益率	14.1%	13.6%	16.7%	13.3%	15.2%		1.9pt

(受注高)

土木工事の受注高は、土地区画整理事業などの大型民間工事の受注はあったものの、官庁工事の受注が大きく減少したことなどから、全体としては前期実績を下回りました。

(売上高)

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って一部の工事では着工が遅れたことが影響し、前期実績を下回りました。

(売上総利益)

売上総利益は、減収の影響があったものの、比較的採算性の高い当社独自工法である技術商品工事が伸長したことにより、前期と同水準となりました。

3. 不動産事業

□ 売上高・売上総利益等の状況

(単位:百万円)

	2016.9	2017.9	2018.9	2019.9	2020.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
連結売上高	13,340	5,394	3,017	4,403	7,829	3,425	77.8%
連結売上総利益	4,777	1,649	1,351	1,357	2,115	758	55.9%
連結売上総利益率	35.8%	30.6%	44.8%	30.8%	27.0%		▲3.8pt

(売上高)

不動産事業は、分譲マンション事業において、当第2四半期迄に新規物件2棟の完成引渡しを迎えたことから、前期実績を大きく上回りました。

(売上総利益)

売上総利益も、増収効果により、前期実績を大きく上回りました。

□ 分譲マンションの実績

(当社持分)

	2016.9	2017.9	2018.9	2019.9	2020.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
引渡戸数	202戸	112戸	30戸	39戸	103戸	64戸	164.1%
契約戸数	144戸	123戸	110戸	107戸	62戸	▲45戸	▲42.1%

(販売戸数)

分譲マンションの引渡戸数は、首都圏において新規物件2棟の完成引渡しを迎えたことから、前期実績を大きく上回りました。

[分譲マンション実績紹介]

東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷」駅徒歩1分の好立地に、2020年5月野村不動産株式会社との共同事業「プラウド南阿佐ヶ谷」が完成し、全戸完売しました。

<物件概要>

物件名	プラウド南阿佐ヶ谷
所在地	東京都杉並区成田東四丁目15番1
総戸数	100戸(住宅99戸、店舗1区画)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上14階・地下1階建
事業主・売主	矢作地所株式会社、野村不動産株式会社
設計・監理	矢作建設工業株式会社一級建築士事務所
施工	矢作建設工業株式会社

Ⅲ. 連結財政状態及び配当の状況

□ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部		2020.3 実績	2020.9 実績	増減	負債の部		2020.3 実績	2020.9 実績	増減
流動資産	現金預金	13,776	21,943	8,167	流動負債	支払債務	11,672	14,890	3,217
	売上債権	33,336	31,106	▲ 2,230		短期借入金	20,517	26,303	5,785
	未成工事支出金	6,085	8,495	2,409		未成工事受入金	4,904	3,928	▲ 975
	販売用不動産	15,624	15,070	▲ 553		その他	3,401	2,611	▲ 789
	その他	2,063	2,307	244		合計	40,495	47,733	7,237
	合計	70,886	78,923	8,037	固定負債	長期借入金	5,540	4,713	▲ 826
固定資産	有形固定資産	27,707	27,269	▲ 437		その他	9,108	8,965	▲ 143
	無形固定資産	476	504	28		合計	14,649	13,678	▲ 970
	投資その他の資産	8,121	8,487	366	負債合計	55,145	61,412	6,267	
合計	36,305	36,261	▲ 43	純資産	52,046	53,772	1,726		
資産合計	107,191	115,185	7,993	負債・純資産合計	107,191	115,185	7,993		

□ 主要経営指標

	2017.3実績	2018.3実績	2019.3実績	2020.3実績	2020.9実績
自己資本比率	42.9%	43.7%	45.8%	48.6%	46.7%
流動比率(※)	169.9%	165.5%	164.1%	175.0%	165.3%
当座比率(※)	119.6%	117.0%	110.2%	116.3%	111.1%

(※) 流動比率=流動資産÷流動負債、当座比率=(現金預金+売上債権)÷流動負債

当期は、新型コロナウイルス感染症による不測の事態に備えるため、手元資金を厚めとした資金運営を行いました。売上債権の回収に加え、短期借入により50億円を調達した結果、現金預金が前期末に比べ約81億円増加しております。

これにより総資産も前期末に比べ約80億円増加し、自己資本比率は46.7%となりました。

□ 配当の状況

	2016.9実績	2017.9実績	2018.9実績	2019.9実績	2020.9実績
中間配当金	12円	12円	12円	16円	17円

IV. 通期予想について

□ 2021年3月期の連結通期業績予想(2020年5月11日公表値からの変更なし) (単位:百万円)

	2020.3	2021.3	前期比	
	実績	通期予想	増減額	増減率
売上高	90,129	100,000	9,870	11.0%
営業利益 (営業利益率)	7,764 (8.6%)	7,000 (7.0%)	▲ 764	▲ 9.8% ▲ 1.6pt
経常利益 (経常利益率)	7,829 (8.7%)	7,000 (7.0%)	▲ 829	▲ 10.6% ▲ 1.7pt
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	5,158 (5.7%)	4,800 (4.8%)	▲ 358	▲ 6.9% ▲ 0.9pt
年間配当金	(※) 34円	34円	0円	
第2四半期末	16円	(実績) 17円	1円	
期 末	18円	17円	▲ 1円	
配当性向	28.6%	30.7%	—	2.1pt

(※) 創立70周年記念配当4円を含む

【2021年3月期連結通期予想】

2021年3月期(通期)は、当社の中期経営計画の最終年度にあたり、通期予想は売上高1,000億円、営業利益70億円としております。2020年5月11日に公表した業績予想に対し、当第2四半期は各利益段階で予想値を上回りました。通期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響は依然不透明であるものの、当初公表値から変更はありません。

(売上高)

売上高につきましては、建設事業は施工生産性の高い鉄骨造の建築工事が増加することなどから増収となる見込みです。一方、不動産事業については分譲マンション事業は増収となるものの、前期にあった大規模工業団地など用地販売の売上が減少するため、減収となる見込みです。売上高全体としては、建設事業の増収により、前期実績を上回る見込みです。

(利益)

利益につきましては、建設事業での増収効果はあるものの、不動産事業において前期に計上された自社開発の大規模工業団地のような好採算物件の販売を見込んでいないことなどから、各利益段階で前期実績を下回る見込みです。

(配当)

当期の1株当たりの配当金は、中間実施17円、期末予想17円、合計34円の普通配当とし、前期の年間配当34円(創立70周年記念配当4円を含む)と同水準とさせていただき予定です。当期は若干の減益を見込んでおりますが、配当方針に基づいて安定配当を実施してまいります。

V. 参考情報

1. 受注高、売上高及び次期繰越高(連結)

□ 受注高

(単位:百万円)

区分		2019.9 実績	2020.9 実績	前期比		
				増減額	増減率	
工事	建築	官庁	7	—	▲ 7	▲ 100.0%
		民間	39,440	38,580	▲ 860	▲ 2.2%
		計	39,447	38,580	▲ 867	▲ 2.2%
	土木	官庁	5,312	2,850	▲ 2,461	▲ 46.3%
		民間	7,610	6,797	▲ 812	▲ 10.7%
		計	12,922	9,648	▲ 3,274	▲ 25.3%
	合計	官庁	5,319	2,850	▲ 2,468	▲ 46.4%
		民間	47,050	45,378	▲ 1,672	▲ 3.6%
		合計	52,370	48,228	▲ 4,141	▲ 7.9%

□ 売上高

(単位:百万円)

区分		2019.9 実績	2020.9 実績	前期比		
				増減額	増減率	
工事	建築	官庁	7	—	▲ 7	▲ 100.0%
		民間	19,558	26,417	6,858	35.1%
		計	19,566	26,417	6,851	35.0%
	土木	官庁	5,712	4,475	▲ 1,237	▲ 21.7%
		民間	8,140	7,525	▲ 614	▲ 7.6%
		計	13,853	12,000	▲ 1,852	▲ 13.4%
	小計	官庁	5,720	4,475	▲ 1,244	▲ 21.8%
		民間	27,699	33,943	6,243	22.5%
		小計	33,419	38,418	4,998	15.0%
不動産事業等		4,403	7,829	3,425	77.8%	
合計		37,823	46,247	8,424	22.3%	

□ 次期繰越高

(単位:百万円)

区分		2019.9 実績	2020.9 実績	前期比		
				増減額	増減率	
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	63,012	70,751	7,739	12.3%
		計	63,012	70,751	7,739	12.3%
	土木	官庁	14,932	10,452	▲ 4,480	▲ 30.0%
		民間	19,445	18,103	▲ 1,341	▲ 6.9%
		計	34,378	28,556	▲ 5,821	▲ 16.9%
	合計	官庁	14,932	10,452	▲ 4,480	▲ 30.0%
		民間	82,457	88,855	6,397	7.8%
		合計	97,390	99,307	1,917	2.0%

以上